

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第11回 通常総会開催



一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第11回 通常総会が6月24日(金)午後1時から名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)で会員469社(委任状408社を含む。)が出席して開催されました。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため縮小して開催。なお、総会の様子はYouTubeでライブ配信されました。

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会「第11回 通常総会」が開催され、常務理事 伊藤泰雄氏が司



司会の伊藤常務理事

会・進行を行い、総会の出席者数、委任状の提出社数の報告、及び開会の辞を述べました。

挨拶で会長 永井良一氏は、「只今、ご紹介をいただきました、一般社団法人 愛知県産業資源循環協会会長の永井良一でございます。

本日は、第11回通常総会ということで、一般社団法人として、活動し始めてから、早くも11年目となります。総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶

を申し上げます。

本日の総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から縮小しての開催とさせていただきましたが、多数の方にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。また、『YouTube』によるライブ配信をさせていただきますので、『YouTube』をご覧の会員の方々にも感謝申し上げます。

本日、ご来賓としてご臨席いただきました自由民主党参議院議員でいらっしゃいます藤川政人先生に



挨拶をする永井会長

おかれましては、参議院議員愛知選挙区の選挙活動でお忙しい中ご臨席をいただき誠にありがとうございます。

また、同じく参議院議員の片山さつき先生におかれましては比例代表の参議院議員選挙活動の中でご臨席いただけませんでした。ご挨拶文をいただきありがとうございました。

藤川先生には、後程、ご挨拶をいただきたいと存じます。

さて、廃棄物処理に関する事業者は「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」として位置付けられ、関係の皆様には、コロナ禍の中であっても、廃棄物処理業の継続に御尽力していただいたところです。

引き続き、廃棄物処理業務を安定的に継続するため、廃棄物処理における新型コロナウイルスへの感染防止対策を適切に講じて頂くようお願い致します。

私どもの業界は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が昭和52年から43年連続日本一を続ける「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大防止による産業活動への影響が随所に現れ当業界を取り巻く景況動向は、さらに厳しいものになっていますが、将来に向かって、この難局を乗り越え、更なる発展をしていかなければなりません。

そのためには、これまでも増して、資源循環の

更なる推進、適正処理の徹底に努める他、環境配慮契約法への適切な対応や、優良認定制度に基づく優良産業廃棄物処理業者の育成などに取り組んでいかなければなりません。

このような中、私が会長を務めており、当協会の上部団体である公益社団法人 全国産業資源循環連合会では、資源循環を促進していく上で、産業廃棄物処理業界が処理の単なる「受け手」から産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」へと変貌して行く為に、産業廃棄物処理産業の振興法案を作り、法制化するために関係機関等に働きかけているところで、皆様のご理解とご支援を賜りたいと考えております。

また、近年、頻繁に発生する自然災害によって発生する災害廃棄物処理においても、当業界は重要な役割を担っています。当協会では、令和元年の台風19号の豪雨災害で被害にあった長野県千曲市の災害廃棄物処理で会員相互の協力で広域支援を行ったことは全国で初めてであり、当協会が良い先例になる事が出来たと自負しています。これも、ひとえに、協会を盛り上げていただいています皆様の協力の賜物だと感謝しています。ありがとうございます。

こうした自然災害が生じた場合に、いち早く的確な災害復旧、復興を図るためには、我々業界が緊急応急対策として災害廃棄物処理を担って行かなければならない使命があります。

あってはならないことですが万一被災した場合には、会員の皆様が日頃培った分別・収集、処理のノウハウや会員企業が持つ資機材の活用と機動力が是非とも必要であり、災害発生時には、全面的な支援・協力をお願いしたいと考えています。

今後とも、会員の皆様方と力を合わせ、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現等、業界発展のために努力してまいりたいと考えております。

本日は、令和3年度の事業報告及び収支決算報告の承認について、並びに全役員辞任に伴う役員改選についてご審議いただく総会であります。

よろしくご審議をお願いいたしまして、簡単ですが、第11回通常総会の開会に当たりましての私のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくをお願いいたします。」と述べました。

続いて来賓の挨拶で自由民主党参議院議員 藤川



来賓挨拶をする
参議院議員 藤川氏

政人氏は「只今ご紹介いただきました参議院議員の藤川です。永井会長をはじめとした一般社団法人 愛知県産業資源循環協会の皆様、本日はお招きいただきありがとうございます。先ほど永井会長からお話がありました通り、廃棄物は資源であり、それをどのように活用していくかがこれからの大きな課題です。さらに資源を再利用した商品化等、しっかりと財源を確保するための法制化について支援できればと思っています。また、『災害』については、これからの出水期を前にして災害対策の強化を図らなくては行けません。現状は自然災害が発生すると広範囲に被害を及ぼしています。今後このような多くの課題を、皆様のお声を聞いて協議を重ねて参りたいと思います。」と述べました。

参議院議員の片山さつき氏からは挨拶文が届いていましたので伊藤常務理事が代読しました。

議案審議は、議長に副会長 中野兼司氏が選任され、議事録署名人として議長の中野副会長、永井会長、理事 金田英和氏、理事 相木 徹氏が選任され議案の審議が行われました。



議長の中野副会長

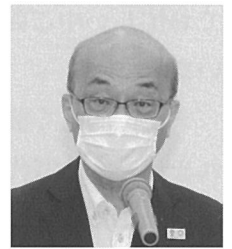
- 第一号議案 令和3年度事業報告承認について
- 第二号議案 令和3年度収支決算報告承認について
- 第三号議案 全役員辞任に伴う役員改選について

議案審議は、第一号議案、第二号議案は関連があるため一括して審議されることとなり、専務理事 堀部隆司氏、監事 鶴山圭一氏より説明があり、会場の拍手にて承認されました。

第三号議案については堀部専務理事から提案説明として、定款に定められた役員の任期について「現在、愛産協と公益社団法人 全国産業資源循環協会（以下「全産連」という。）との役員任期において1年のズレが生じており、全産連の役員等に就任する場合、不都合が生じる場合がありますので、全産連の役員の任期に合わせるため、本日開催の総会を以て全役員に辞任をしていただき、改めて役員改選を行い、令和4年6月から2年の任期とするものです。今回の役員改選にあたり、事前に本日を以て辞任していただく辞任届は提出していただいております。」と述べ、定款に従って選任される役員の条件等を説明し、堀部専務理事が令和4年度・5年度の新役員候補25名の氏名を読み上げ審議されました。

議案は会場の拍手にて承認され、次に、代表理事、業務執行理事を選出するため、臨時理事会が別室にて開催されました。その結果を中野議長が役職名ごとに発表され、呼ばれた方から前列に並び会場からの拍手で承認されました。

全ての議案審議が終了し、中野議長は議長を退任し、閉会の辞を新美三良常務理事が述べ、総会は閉会となりました。



議案説明をする
堀部専務理事



議案説明をする
鶴山監事

新役員の皆様



令和4年度・5年度

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 役員名簿

役職	氏名	会社名
会長	永井 良一	永一産商 (株)
副会長	中野 兼司	(株) 東伸サービス
副会長	新美 三良	(有) 三洋サービス
専務理事	堀部 隆司	(一社) 愛知県産業資源循環協会
常務理事	伊藤 泰雄	(株) ダイセキ
常務理事	相木 徹	オオブユニティ (株)
理事	金田 英和	サンコーリサイクル (株)
理事	富田 昭夫	(株) 富田商店
理事	松井 忠博	(有) 松井工業
理事	土田 浩通	(一社) 愛知県建設業協会
理事	東久保真弓	(有) 愛知環境センター
理事	山本 浩也	(株) ダイセキ環境ソリューション
理事	南村 朋幸	大和エンタープライズ (株)

役職	氏名	会社名
理事	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
理事	石山 勝範	(株) エヌジェイエス
理事	藤本 和也	(株) ワールド・クリーン
理事	今村 昌根	(株) 新栄重機
理事	金井 邦剛	(株) 企業処理サービス
理事	山田 修三	東亜合成 (株)
理事	永井 弘児	永一産商 (株)
理事	山本 英之	明倫運輸 (株)
理事	中嶋 久則	久栄運輸 (株)
理事	天野 晃明	岡崎技研 (株)
監事	鶴山 圭一	(株) 星野産商
監事	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵

令和4年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 会長表彰

総会終了後、協会事業に対し多大な貢献をされた「特別功労者」表彰2名、「功労者」表彰3名、規範となり県の産業廃棄物処理業に寄与された「優良事業所」表彰3社、同一事業所勤続10年以上で他の模範となる「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。

【特別功労者表彰】

清水 善実	株式会社シミズ
金田 琳	サンコーリサイクル株式会社



永井会長と特別功労者表彰を受賞された皆様

【功労者表彰】

浅井 明利	有限会社浅井商店	(名古屋支部)
藤本 和也	株式会社ワールド・クリーン	(尾張西支部)
今村 将基	株式会社新栄重機	(尾張北支部)



永井会長と功労者表彰を受賞された皆様

【優良事業所表彰】

株式会社知多環境保全センター	(尾張南支部)
有限会社渥美商会	(西三河支部)
株式会社マルサワ	(東三河支部)



永井会長と優良事業所表彰を受賞された皆様



永井会長と優良従事者表彰を受賞された皆様

[優良従事者表彰]

平野 範之	フルハシEPO (株)	(名古屋支部)	迫本 哲也	オオブユニティ (株)	(尾張南支部)
飯田 将也	(株) ケイズエコロジーテクニカル	(名古屋支部)	塩見 卓也	(株) 知多環境保全センター	(尾張南支部)
山口 真広	大有建設 (株)	(名古屋支部)	西浦 季克	(株) 企業処理サービス	(西三河支部)
城山 司	(株) KANKYO HANDS	(尾張西支部)	安達 健太郎	サンエイ (株)	(西三河支部)
福井 貴信	(株) 宮崎	(尾張西支部)	杉浦 正信	(株) トヨジン	(東三河支部)
武田 竜臣	(株) 尾東	(尾張北支部)	洪本 雅昭	(株) MARUKO	(東三河支部)
小森 正三	(株) リョクリン	(尾張北支部)			

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 令和4年度 会長表彰

■優良事業所表彰

鬼頭 秀幸	有限会社リサイクリング産業
-------	---------------

■地方功労者表彰

梅谷 岳志*	有限会社花丘商事
南村 朋幸	大和エンタープライズ株式会社

* 故梅谷岳志氏は令和4年6月11日にご逝去されました

■地方優良事業所表彰

インセント株式会社
有限会社O.W.M
株式会社ダイワ

■優良従事者表彰

山本 英之	明倫運輸株式会社
藤原 司	有限会社丸公建材
水野 清高	坪井金属有限会社
榊原 正巳	株式会社野間砂鋳業所
杉山 親友	サンエイ株式会社
原田 昌明	三州建設株式会社

特別功労者受賞者の方のメッセージ

清水 善実 氏

この度は特別功労者表彰を賜り、誠にありがとうございました。

私は名古屋支部の支部長として令和元年度に就任し、これまで支部で育まれてきた「横のつながり」を大切にして会員の皆様の結束力を図り、協会事業の活性化に協力してまいりました。

令和元年10月の藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業はテレビ局数社の取材を受け、同年台風19号による千曲市災害廃棄物処理の支援では名古屋支部から多数の会員企業が応援に出向き、夏季納涼親睦会、軍艦島への視察研修会等多くの事業を開催することができました。

しかし、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により社会状況が一変しました。

これにより協会30周年事業のイベントは中止となりましたが、テーマとなったSDGsは協会のシンボルとして協会バッジの一部に組み込まれてデザインされ、多くの会員の皆様のSDGsへの認識を深める役割を果たしました。

コロナ禍にあった数年は社会生活の変更を余儀なくされましたが、これまでのビジネススタイルが情報通信の飛躍的な発達に伴いタイト化され、結果として無駄な部分に気づくことができたことは言うまでもありません。

本年度からはコロナ禍の規制が徐々に緩和され、経済の活性化に向けて社会が動き始めています。私たちの業界もこれからが正念場として捉え、この数年で経験した感染症への予防対策、日々の業務のあり方等をアップデートして、安全衛生への更なる対応、処理能力を高めるための業務の効率化に向けて見直す時期にあります。

また、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。このような中、さらに私たちの業界が成すべき役割は重要となり、社会から求められる期待が大きくなっていく局面に、私たちはきちんと応えなくてはなりません。

今後は協会の運営陣からは退きますが、名古屋支部の一員としてこれからも支部事業に協力してまいります。(一社)愛知県産業資源循環協会の益々の発展と会員皆様方のご健勝を心より祈念申し上げます。



金田 琳 氏

この度、様々な方が表彰される中、特別功労者表彰を頂戴し誠にありがとうございます。

私は青年部会長として三年間理事を務めさせていただき、重責を担う役務を通じて理事会において協会の発展のため何を議論をし、どのように会議を進めていくのか、諸先輩の皆様方から多くのことを学ばせて頂きました。

本来であれば活発な議論が行われたのではないかと思います。コロナ禍ということもあり、各支部含め協会全体が停滞した二年だったように思います。

しかし、青年部はこの魔の期間にICTを活用した情報発信に着目し、ハイブリッド形式での事業展開や、青年部のホームページをリニューアルいたしました。ホームページ内は中部ブロックでの集まりや視察研修等を紹介し、「会員の声」では登場者が青年部で活動されたいことが飾らぬ言葉で語られ、全員が青年部の交流を通じて全国規模への広がり期待し、次世代の無限な底力でコロナ禍の業界の停滞ムードを覆す想いでいっぱいでした。振り返れば、私の代の会員の皆様はピンチをチャンスに活かすスキルがかなり培われ、会長を担えた私は大きく成長するチャンスに恵まれました。

今期から私は、青年部会長を次の会長へバトンタッチをし、全産連青年部協議会の副会長として、青年部を活気付けるため微力ながら協力していく所存です。

現在、二年以上続いたコロナ禍において全産連は減収となり、各地域の協会も軒並み減収となっております。これについて全産連青年部協議会は非常に危機感を持ち、新たな収益性をもたらす方法等について活発な議論を行っております。

ぜひ、協会理事の皆様方にはこれまでの慣例やお決まりの行事だけで協会運営をされるのではなく、もっと広い視野で協会全体の目指すべき未来について活発な議論を、僭越ではございますがお願い申し上げます。

最後に、「循環あいち」では支部・青年部・女性部の事業を掲載しています。どれほど社会貢献しているのか、楽しく活動しているのかをご一読いただき、この機会にぜひ諸活動にご参加ください!

各支部並びに青年部・女性部は、素晴らしい方々の集まりですので、業界内の繋がりを作るには最高の環境だと思います。今後、積極的にご参加頂き皆様と共に愛産協を「オール愛知」で盛り上げていきましょう。

